

神村学園前駅前広場での ボランティアに感謝



神村学園前駅は、神村学園高等学校の吹奏楽部、女子サッカー部の皆さんが、駅のトイレや歩道橋などの清掃をボランティアで行っています。

また、駅前広場内の花壇は、串木野養護学校の児童の皆さんが、花の植え替えを季節に合わせて行っています。

市の玄関口である駅前の広場に、生徒や児童皆さんの優しい気持ちが届いています。

いつもありがとうございます。

串木野養護学校 海上保安部職場見学



10月7日、串木野養護学校中等部2年生の生徒10名が、串木野海上保安部で職場見学を行いました。

生徒たちは、海上保安部の仕事や任務についての説明を真剣に聞いた後、巡視船「とから」の船内を見学しました。船内では、説明を受けながら、嬉しそうに操縦席に座って操縦かんを握ったり、双眼鏡をのぞきこんで遠くを眺めたりしていました。



紅葉散策のお供にいかが？ 「冠岳★薬膳弁当」期間限定で登場！

紅葉スポットとして人気のある冠岳を訪れる観光客に、本市の食の魅力を発信しようと、生活研究グループ連絡協議会が「冠岳★薬膳弁当」を商品化しました。



薬膳料理家の梶英子さん監修のもと、地域の素材をふんだんに使い、一品一品丁寧に手作りで仕上げた仙人味噌汁付きのお弁当です。

「くるくるMOMIJI（もみじ）バス」の利用者を対象に事前予約制で販売されます。

徐福伝説と薬草の自生地として知られる冠岳で、心にも体にも優しい薬膳を味わってみませんか？

●販売日時 11月21日（土）・22日（日）・23日（祝月）
11月28日（土）・29日（日）
11：00～13：00

●場 所 冠嶽園前
●販売金額 1個1,350円（税込）※仙人味噌汁付
●申込先 いちき串木野市総合観光案内所
☎32-5256

～11/21（土）～12/6（日）～

「くるくるMOMIJIバス」が運行します

JR串木野駅を拠点として、紅葉が見ごろとなった冠岳方面へ観光シャトルバス（予約制）を運行します。市民の皆様もぜひご利用ください。

詳しくは11月5日号のおしらせ版、または市のホームページをご覧ください！

QRコードもしくは
「くるくるもみじ」で検索！



交通安全協会から感謝状



平成12年から令和元年まで、19年間の長きにわたり、交通安全運動に献身的に尽力された妙円園努さんに、いちき串木野地区交通安全協会から感謝状が贈呈されました。

御倉山の森で遊ぼう ～ツリークライミングとひみつ基地～



10月24日、本浦地区まちづくり協議会が御倉山で「御倉山の森で遊ぼう！ツリークライミングとひみつ基地」を開催しました。

今年で3年目となるこのイベントには、市内の子ども達約40名が参加し、ツリークライミングや竹馬、秘密基地作り、宝探しなど様々な体験活動を楽しみました。

参加した児童達は、「初めてした」「楽しい」など、普段なかなかできない体験に夢中になって遊んでいました。

てんがらもん 五代友厚映画「天外者」制作報告会



10月10日、本市のふるさと納税を活用し、制作した映画「天外者」の制作報告会が薩摩藩英国留学生記念館で行われました。

映画は薩摩スチューデントの1人で大阪経済の父と呼ばれた五代友厚の人生を描いたもので、主人公の五代役は7月に急逝した三浦春馬さんが演じています。映画は12月11日全国上映の予定です。

市来町漁協 秋太郎のプレゼント



10月23日、市来町漁業協同組合から市来地域の養護老人施設へ、秋を告げる旬の秋太郎（バショウカジキ）のプレゼントがありました。これは、20年以上前から続けているものです。

秋太郎の大きさに入所者からは、驚きの声がありました。

まぐろの日 もっとまぐろ食べて



鹿児島まぐろ船主協会は、10月10日のまぐろの日に合わせて、いちき串木野の船が獲ってきた「薩州串木野まぐろ」をアピールしました。市内スーパーと鹿児島市でまぐろを通常の半額程度の値段で販売しました。販売したまぐろは完売しました。

「ふる里の海づくり事業」開催



10月22日、串木野漁港で県内唯一の市民が参加できる稚魚放流事業が開催され、市来小学校の5年生がカサゴ6百尾の放流を体験しました。

放流されたカサゴは元気に海へ泳いでいきました。

まぐろ普及出前授業



鹿児島まぐろ同友会・鹿児島まぐろ船主協会・いちき串木野市漁業後継者協議会から、鹿児島県の「かごしまのおさかな消費緊急対策事業」を活用して、子ども達にまぐろを食べてもらおうと、学校給食センターにキハダマグロが提供されました。

まぐろは、10月2日の学校給食に「まぐろのピリ辛ソースかけ」として出され、同日、市来小学校では鹿児島まぐろ同友会が出前授業として、遠洋まぐろ漁業の漁の様子を話したり、まぐろ漁の疑似体験などを行いました。

給食では、鹿児島まぐろ同友会の方々も一緒に食べて交流を深めました。

魚がいっぱい泳ぐ海を ～アマモシート作成～



市内4漁協が一緒になり、アマモという海草の種がくっついたアマモシートを海底に設置し、魚の産卵場所や小魚の住みやすい環境を作り、漁業資源を増やす活動を平成21年から続けています。

今年は10月22日に市来小学校の5年生53名が、アマモの海での役割を学んだあと、12枚のアマモシートを作成しました。

アマモは種を作り、その種が定着していくことで群落を作ります。今までの取り組みで一部は定着してきています。

～ハロウィンでおもてなし～

ホテルアクシアくしきの 市民限定宿泊企画



10月23日と24日、ホテルアクシアくしきので、市民を対象とした1泊2食付きのハロウィン企画が開催されました。国の「GOTOトラベルキャンペーン」と本市の「地元ときめき旅キャンペーン」の割引助成が後押しし、2日間で約70名の参加者が、普段泊まることのない地元ホテルでの滞在を楽しみました。

ハロウィン仕様に装飾されたホテル内では様々な企画が催され、2日間限定で提供された夕食は、バイキング料理やビアガーデンでの焼き立て和牛の提供などがあり、参加者はそれぞれの楽しみ方で秋の夜長を満喫しました。



県民限定日帰りの旅

いちき串木野みなとまち風景まんきつツアー



10月24日、市総合観光案内所を運営するNPO法人鹿児島いちき串木野観光物産センターの企画で、本市ならではの食と体験を楽しめる日帰りツアーが開催されました。

県内から11名の参加があり、造船所見学（寿工業）や、まぐろ冷凍庫体験（新洋水産）、花ちりめんプレス体験（大久保水産）、新鮮魚介の解体ショー（市来えびす市場）など、本市の魅力あふれる体験メニューを満喫しました。

市総合観光案内所では、市民を対象としたお得な「地元ときめき旅キャンペーン」を12月20日まで受け付けています。（申込上限に達し次第終了）詳しくは市総合観光案内所（☎32-5256）まで。



にんにくの植え付け



10月10日、生福地区まちづくり協議会、地区女性部、生冠中学校の生徒が参加し2か所の畑に約1万個の植え付けを行いました。

5月下旬ごろに収穫し、約2週間熟成させると、おいしい黒にんにくとして食べられるそうです。

頑張ろう、いちき串木野！花火大会

10月31日、市内5か所で同時に花火大会が行われました。



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、打上場所を公表せずに行われましたが、近隣の住民は空を見上げ、秋の夜長に打ち上げられた花火を楽しんでいました。

濱田酒造で新たな取り組み 新酒まつり

11月1日、濱田酒造株式会社が「ENJOY！おうちで新酒まつり」を開催しました。今回は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、初めてオンラインでの開催となりました。



YouTube Liveを利用して、焼酎講座やバーチャル工場見学としてオンラインで工場内を公開しました。前日の10月31日には、前夜祭としてZoomを利用したオンライン飲み会を開催。LIVE配信を活用し、全国各地へ本格焼酎の魅力を発信しました。

濱田酒造では、今後も継続してオンラインを活用した取り組みを検討しているそうです。

100歳おめでとうございます



本鍋田サトさん

原口トミヨさん

10月4日に本鍋田サトさん（堀）が、10月10日に原口トミヨさん（曙町）が、100歳の誕生日を迎えられました。

お二人には、市からお祝いの花や記念品などを贈呈しました。現在、本市の100歳以上の方は38名（10月12日時点）です。

いつまでもお元気で長生きしてください。

第13回B & G杯パークゴルフ大会

10月31日、第13回B&G杯パークゴルフ大会が開催され、熱戦が繰り広げられました。



- 男性の部 優勝 橋口 宏 (95)
準優勝 重村 溢夫 (96)
第3位 川崎 睦雄 (96)
- 女性の部 優勝 花立 好子 (104)
準優勝 横須美代子 (106)
第3位 茶園 孝子 (109)

（カッコ内数字はスコアです）

第42回いちき串木野市秋季親善グラウンド・ゴルフ大会

10月31日、第42回いちき串木野市秋季親善グラウンド・ゴルフ大会が開催され、40チーム200人の参加があり、熱戦が繰り広げられました。



- 団体の部 優勝 いちきフレンズ
準優勝 ふもと同好会
第3位 串協まぐろ
- 個人の部 優勝 原口 勝義（平瀬会A）
準優勝 榎木 蘭 隆（串協まぐろ）
第3位 井手迫アヤ子（徐福の郷B）

新型コロナウイルス感染症対策へ寄付 健康増進課 (☎33-5613)

第4回黎明の地ふるさと短歌大会授賞式 社会教育課 (☎21-5113)



10月17日、いちきアクアホールで第4回黎明の地ふるさと短歌大会の授賞式が行われました。県内各地から3,815首の作品が集まり、大賞作品「夏草が顔半分を覆ひたる 選挙ポスターふるさとに立つ」を詠んだ別府初美さん（薩摩川内市）をはじめ、33名が受賞されました。

身近に感じる一流の芸術 社会教育課 (☎21-5113)



10月15日、照島小学校で、「市町村による青少年劇場」として劇団野ばらによる公演が行われました。「山の風から聞いた話」と題した二部構成で、宮澤賢治の名作「どんぐりと山猫」と「セロ弾きのゴーシュ」が演じられました。

全身を使った大きな動きで表現されるプロの演技に、子どもたちは真剣な表情で見入り、時には会場が笑いに包まれるなど、一流の芸術を間近で体験できる貴重な時間となりました。



公益社団法人 串木野日置法人会から新型コロナウイルス感染症拡大防止に役立ててもらいたいと市に30個の非接触型体温計の寄付を頂きました。本寄付については、今後の感染症予防対策に活用させていただきます。

ありがとうございました。

バス乗り方教室&公共交通ワークショップin羽島 水産商工課 (☎33-5638)



10月8日、羽島交流センターで羽島小学校1・2年生を対象にバス乗り方教室を開催しました。

子ども達は、バスの乗り方、お金の支払い方など楽しく学ぶことが出来ました。

また、同日、羽島交流センターで地域公共交通について考えてもらうことを目的にワークショップを開催しました。

鹿児島大学特任教授 井上佳朗氏の講演を聞いた後、住民がグループワークを行い、公共交通の課題など話し合いました。



第四次行政改革大綱（素案）に対する答申

経営改革課（☎33-5630）



10月12日に行政改革推進委員会から第四次行政改革大綱（素案）に対する答申がありました。

8月から10月まで計3回にわたる審議を経て、令和3年度から5年間の行政改革の方針等について、市民目線での意見や要望が盛り込まれています。

今後は、大綱や答申の意見の実現を目指し、具体的な推進計画を策定していきます。

4 機関合同潜水訓練

消防本部（☎32-0119）



10月23日、串木野漁港で市消防本部や串木野海上保安部など4機関による合同潜水訓練が行われました。

市消防本部には潜水隊があり、普段は陸上で厳しい訓練を積んでいる消防隊員10名が在籍し、岸壁沿いの海難事故などに出動しています。

今回で2回目となる合同訓練は、鹿児島航空基地の機動救難士を講師に、潜水捜索訓練などが行われました。参加した消防隊員は、約20キロもある酸素ポンペを背負って次々と海中に飛び込み、実際の海難現場を想定して、真剣な眼差しで取り組んでいました。



市長の主な動き(10月)

※市長の過去1か月の主な活動を掲載しています。

日にち	内容
10/1(木)	・九州財務局長との懇談（市長室） ・赤い羽根共同募金運動開始メッセージ伝達式（市役所） ・街頭募金活動（市内）
10/5(月)	・100歳到達者表敬訪問
10/8(木)	・第13回新型コロナウイルス感染症市対策本部会議
10/10(土)	・観光地域づくり勉強会（薩摩藩英国留学生記念館）
10/12(月)	・第4次行政改革大綱案答申（市長室） ・全国地域安全運動活動（自転車防犯診断）視察（市内） ・串木野日置法人会寄附物品（非接触型体温計）贈呈式（市長室）
10/15(木)	・全国道路利用者会議第70回全国大会（福岡県） ・ふるさと納税パートナー企業説明会（市役所）
10/16(金)	・自衛隊鹿児島地方協力本部長来庁（市長室）
10/17(土)	・ふるさと短歌大会表彰式（いちきアクアホール）
10/18(日)	・市来幼稚園運動会
10/19(月)	・防犯功労者表彰状伝達式（市長室）
10/20(火)	・南日本政経懇話会合同特別例会（鹿児島市） ・県市町村行政推進協議会地域経済委員会（鹿児島市）
10/21(水)	・九州地区の経済と暮らしを支える港づくり意見交換会（東京都）
10/22(木)	・経済と暮らしを支える港づくり全国大会（東京都） ・知事との県政懇談会（鹿児島市）
10/26(月)	・市政策会議（市長室）
10/27(火)	・県国有林野等所在市町村長有志協議会（鹿児島市）
10/28(水)	・いちき串木野商工会議所青年部来庁（市長室）
10/30(金)	・火災被災者見舞い（市内） ・鹿児島地域行政懇話会（市役所）
10/31(土)	・秋季親善グラウンドゴルフ大会（多目的グラウンド）

マイナンバーカードを作ろう!

(12月より、出張申請受付サービスを開始します)

市民課 (☎33-5611)



市職員が市内事業所や地域団体等の指定する場所に出向き、申請を一括で取りまとめます。
市外に住所がある方もOK!

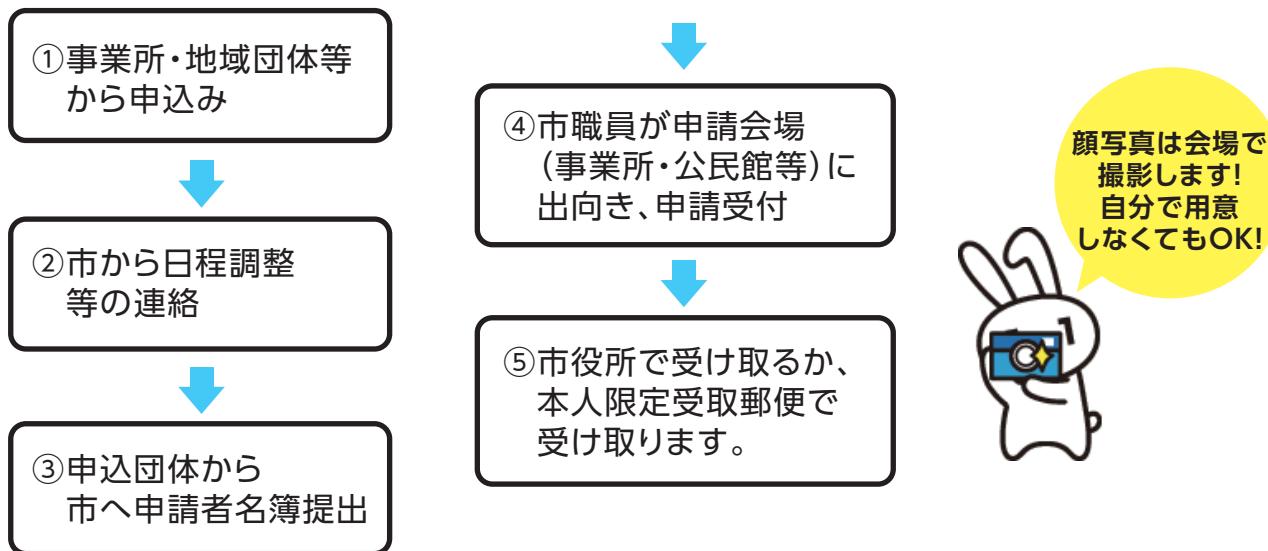
申込要件

- (1) 申請希望者がおおむね5名以上見込まれること
- (2) 申請団体が会場及び机、いす等の備品の準備と片付けを行うこと
- (3) 市が用意するタブレット端末・コピー機等の電源を会場内で確保できること
- (4) 出張時間：平日 10:00～16:00 (日程調整をさせていただきます)

※土日・祝日、時間外、窓口繁忙期(3月～5月)は出張できません。



出張申請の流れ



マイナンバーカードの受け取り方法

次のいずれかの方法でお受け取りください。

○市役所で受取る

1. 申請後約1か月でカードが出来上がります。
2. 市役所からカードが出来上がった通知(ハガキ)が届きます。
3. ハガキが届いたら、ハガキ・通知カード・本人確認書類を市役所に持参しカードを受け取ります。

○本人限定受取郵便で受取る

1. 申請時に本人確認書類を確認後、コピーを取り、通知カードの回収、暗証番号の設定を行います。
2. 申請後約1か月でカードが出来上がります。
3. 郵便局から電話連絡があります。受け取り可能な日時を伝え、郵便局員から本人確認後にカードを受け取ります。

※本人確認書類

○1つで本人確認可能なもの

運転免許証、パスポート、住民基本台帳カード、在留カード等

○2つで本人確認可能なもの

健康保険証、介護保険証、年金手帳、学生手帳、こども医療受給者等

救急だより

消防本部 救急係
(☎32-0119)

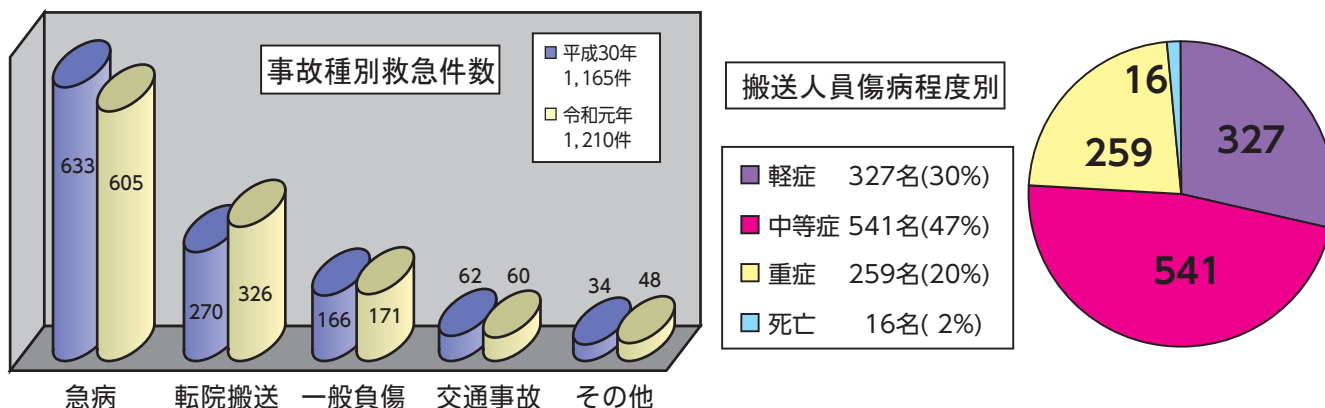


本市の救急概要:救急車の適正利用にご協力を!

令和元年中の救急出場件数は、1,210件(昨年比45件増)、搬送人員は1,143人(昨年比30人増)となり、昨年中の出場件数と比べると約3.8%の増加となりました。

1日の平均出場件数は約3.3件で、住民の約23人に1人が救急車を利用したことになります。事故種別では急病が全体の約5割を占め、次いで転院搬送(病院間の救急搬送)、一般負傷、交通事故と続きます。

また、搬送された方の傷病程度別は、入院(検査等での入院も含む)が必要とされる中等症や手術、緊急処置などが必要な重症者が全体の約7割を占めていますが、**入院を必要としない軽症者が全体の約3割にのぼります。**



新型コロナウイルス感染症を踏まえた救急蘇生法

新型コロナウイルス感染症感染拡大を踏まえ、厚生労働省から次のとおり、市民による救急蘇生法の追補がありました。

心肺蘇生法の手順(感染予防のための注意点)

- ①自分のマスクがあれば着用する。
- ②意識や呼吸の確認は、倒れている人の顔にあまり近づきすぎないように行う。(呼吸の確認は、胸とお腹の動きをみる)
- ③胸骨圧迫を開始する前に、倒れている人の口と鼻に、ハンカチやタオルなどがあればかぶせる。
※AEDの装着と使用については、これまでどおり変更ありません。

倒れている人が大人の場合

胸骨圧迫のみ行い、人工呼吸は行わない。

倒れている人が子どもの場合

人工呼吸の講習を受けその技術を身につけていて、人工呼吸を行う意思がある家族等は、胸骨圧迫に加えて人工呼吸も行う。



救急隊に引き継いだ後は

- ①速やかに石けんと流水で、手と顔をしっかり洗う。
※すぐに洗えない状況であれば、まずは消毒用アルコールで手を消毒する。
※帰宅後は、衣服を着替える。
- ②倒れた人の鼻と口にかぶせたハンカチやタオルなどは、直接触れずに廃棄する。

消防署では毎月、救命講習を行っています。大切な人の命を守るため救命技術を身につけましょう!! 詳しくは毎月発行の「おしらせ版」をご覧ください。



集団災害事故救急訓練を実施しました!

「救急の日」及び「救急医療週間」にあたり、救急業務体制の確立を目的に、9月9日、集団災害事故を想定した救急訓練をいちき分遣所訓練場で行いました。

訓練は暴走車両が、多数の歩行者をはねて電柱にぶつかり、運転手が車両から自力脱出不能となっているとの想定で実施しました。



トリアージ及び病院へ搬送

重症度や緊急度に応じて救出した負傷者を振り分ける「トリアージ」を行い、トリアージの結果を受け、傷病者集積場からより安全な応急救護所まで搬送します。応急救護所では、病院への搬送順位を決定するために、再度トリアージを行い、決定された搬送順位に従って病院（仮想）へ搬送しました。



こんにちは スポーツ推進委員です

市民スポーツ課 (☎21-5129)

スポーツ推進委員の活動は、市民のスポーツコミュニティ活動の促進振興をお手伝いすることです。

残念ながら今年はコロナ禍の影響で、各種スポーツ、イベント等の行事が中止となりました。特に、燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会は延期となり、いつ開催できるのか不安でしたが、佐賀県、滋賀県など予定されていた開催県の多大なるご理解のもと2023年に開催されることになりました。これで、また新しい目標を掲げて活動をしていきたいと思えます。

これからもスポーツを通じて、楽しい触れ合いの場を皆さんに提供できるよう活動を行っていきたくと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

(スポーツ推進委員協議会 会長 徳重 和彦)

いちき串木野市スポーツ推進委員紹介

【冠岳地区】 瀬戸口健治	【生福地区】 田島 洋平・西 奈々	【上名地区】 森永 賢二・小園 絹代
【大原地区】 安藤 太洋・蓑茂 裕子	【中央地区】 栢木 平次・藤井 淳子	【本浦地区】 西川 喜幸・井上 美幸
【野平地区】 田島 一実	【照島地区】 吉永 努・北園 由乃	【旭地区】 山下 一彦
【荒川地区】 岩村 光雄	【羽島地区】 大崎 勝夫・関根由理佳	【川南地区】 原口 俊昭
【川北地区】 堂園 善昭・黒木眞利子	【湊地区】 内野 勝之・瀬戸口寛子	【湊町地区】 大迫 秀人
【川上地区】 徳重 和彦		

市民体育大会の検討状況

私たちスポーツ推進委員が現在どのような活動をしているのか…？

現在、毎年10月に開催している市民体育大会に、いかに多くの市民の皆さんが参加出来るか、次の項目について協議を重ねています。市民体育大会を、より多くの市民の皆さんと楽しく過ごせるよう、頑張っています。

応援ご協力よろしくお願いいたします。(スポーツ推進委員広報部)



- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1 競技種目について | ■高齢者が参加しやすい種目 |
| | ■誰でも簡単に参加出来る種目 |
| 2 種目の見直しについて | ■得点種目数の見直し ■プログラムの見直し |
| | ■現在の種目内容の検討 |
| 3 選手編成について | ■年齢制限について ■選手の人数について |
| | ■対象年齢がない場合の代理の年齢について |
| 4 雨天時の対応について | ■体育館で開催するとした場合の種目の検討 |

「ゆめ～KIBAIYANSE～」ダンスの地域指導活動について

燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会のイメージソングダンスとして作成された「ゆめ～KIBAIYANSE～」ダンスは、市民体育大会や保育園、幼稚園、小中学校の運動会、市内のイベント等で多くの方々が踊っています。

スポーツ推進委員としても普及活動に取り組んでおり、日頃の活動の成果からか、昨年10月20日に鹿児島アリーナ（現：西原商会アリーナ）において、「ゆめ～KIBAIYANSE～ダンスコンテスト」の決勝大会に出場し、一般の部で、見事、審査員特別賞を受賞しました。



また、ダンス講師として10月6日、21日に市来小学校で講習会を開催しました。児童の皆さんは、短い練習時間でしたが、一生懸命練習してくれました。

開催が2023年に延期されることになった国民体育大会・全国障害者スポーツ大会。開催まで、あと3年ありますので、自分たちのパフォーマンスに磨きをかけて、PR活動及びダンス指導をしていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。(本浦地区 西川 喜幸)

スポーツ推進委員協議会では、ゆめ～KIBAIYANSE～ダンスの講師派遣も行っています。ぜひお気軽にお声掛けください。